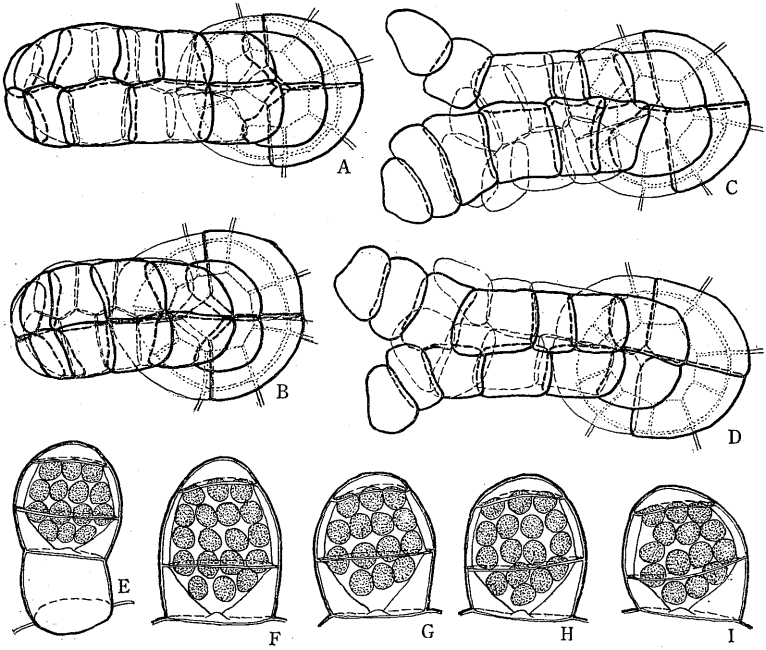

第21図　*T. adiantum-nigrum.* A–D, archegonia (×220). E–I, antheridia (×220).

本種の前葉体は乳頭状突起を生ずることによつて前記のアオガネシダに類似するが，1) 概形，2) 乳頭状突起は縁において散生すること，3) 翼細胞は比較的大形であり，厚角になる傾向は見られないこと，4) 仮根は淡褐色を呈すること，5) 造卵器の頸部は長大であること等によつて明瞭に区別される。

□日本学士院編：**明治前日本林業技術発達史**　日本学術振興会　753 pp. (1959, 3月)　¥1,350

明治前日本科学史のうちの一巻で，徳川宗敬氏の分担編纂したもの。有史以来から明治までの林業技術の歴史で，林業関係の人には勿論，われわれにも興味が深い。特に参考になるのは「森林植物と林相」で，なかでも便利なのは植物遺体の地質時代別一覧表 (pp. 94–293) である。例えば *Metasequoia disticha* Miki は中新世では後志，陸中，岩代，武蔵に，鮮新世では下野，尾張，美濃，伊勢，伊賀，大和，近江，紀伊，和泉，河内，摂津，播磨，淡路，周防，讃岐，伊予，土佐，筑後，肥前からでたことがわかる。エングラーの分類順で，属名の索引があるから使いよい。(佐竹義輔)